

経営比較分析表（令和元年度決算）

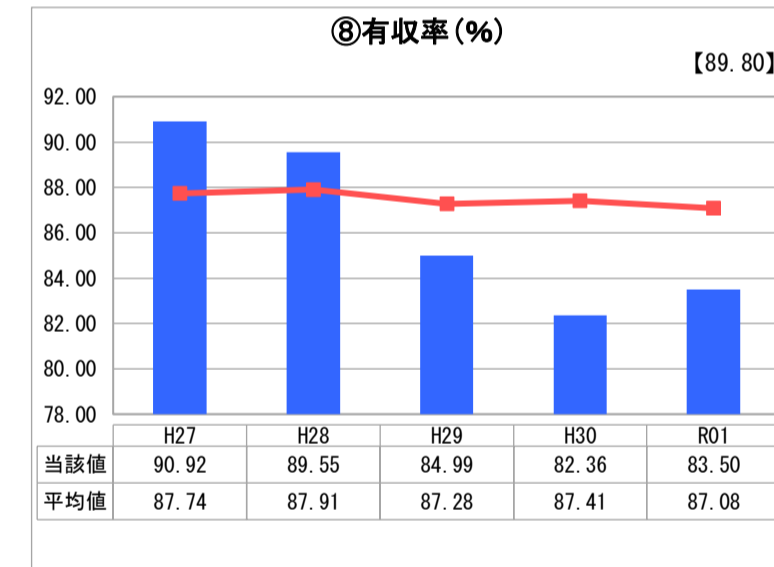
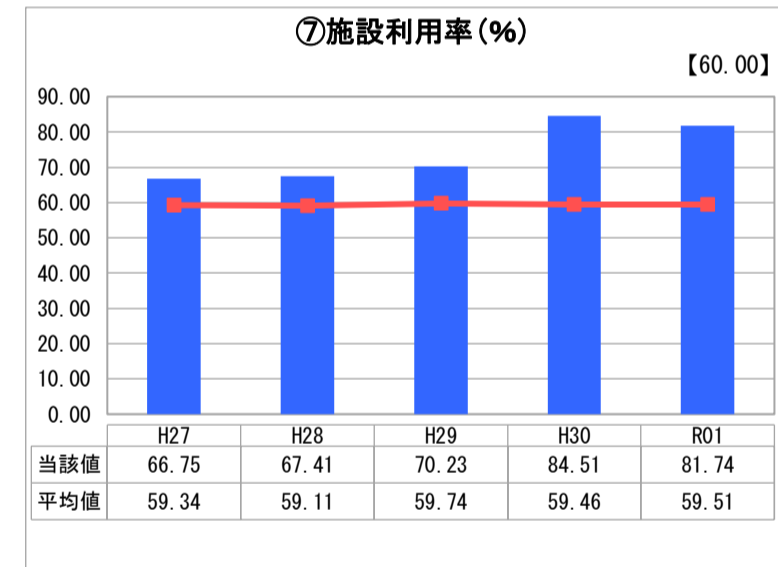
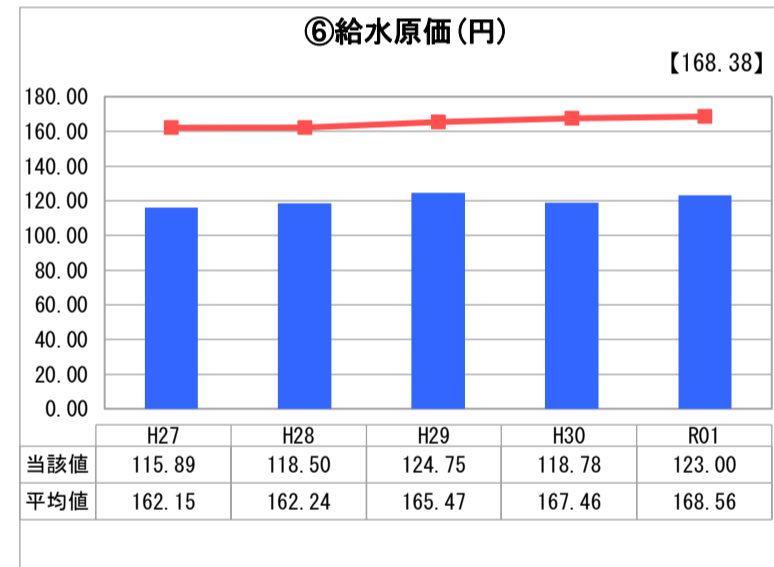
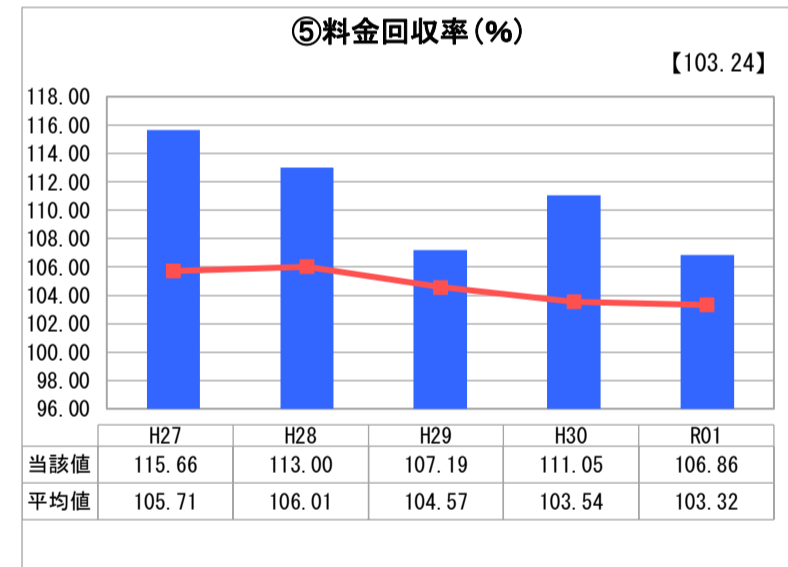
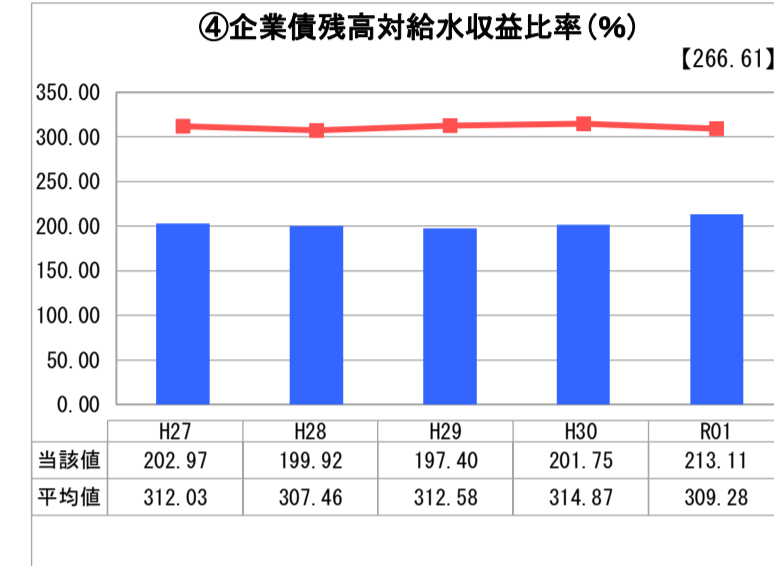
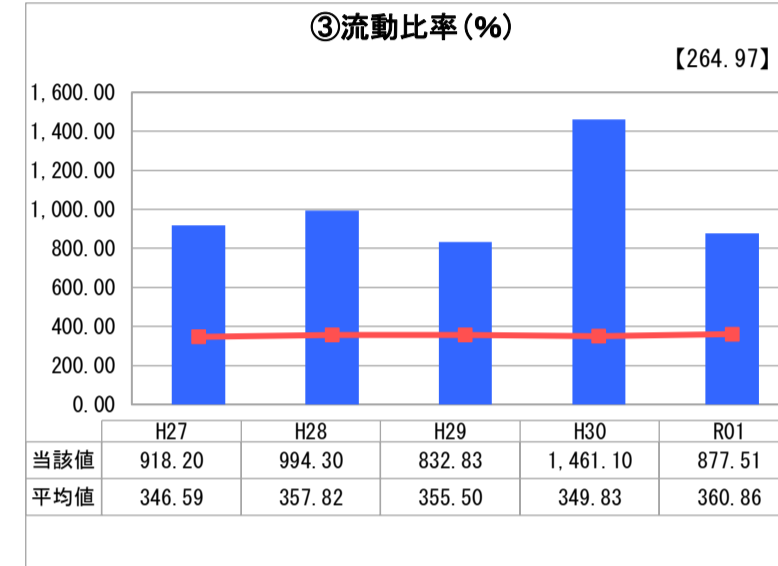
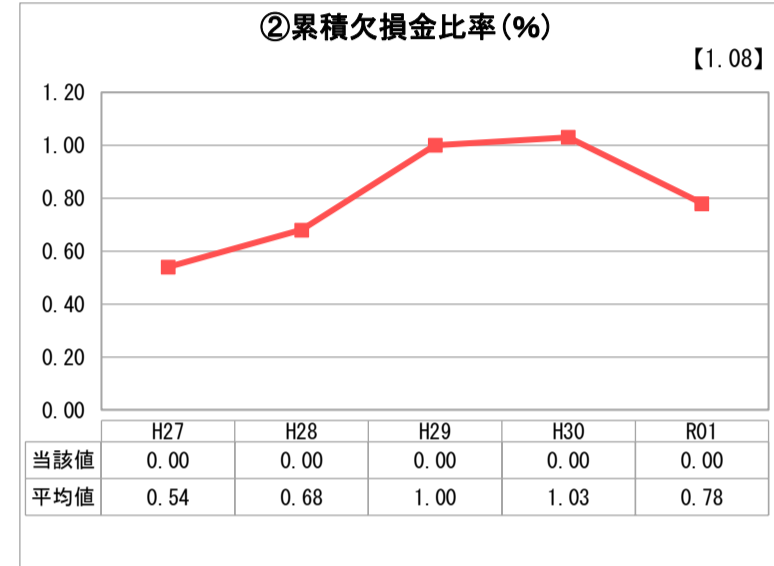
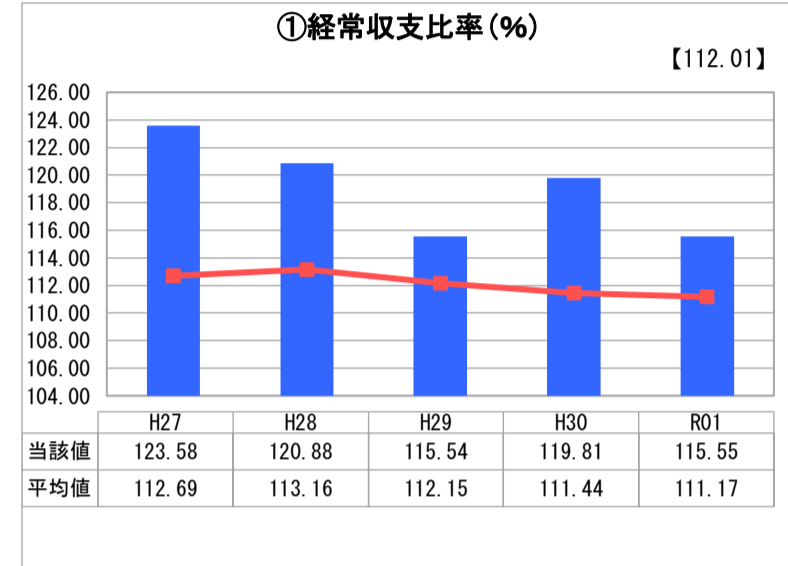
兵庫県 西播磨水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	83.52	100.00	1,823	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
51,162	41.03	1,246.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

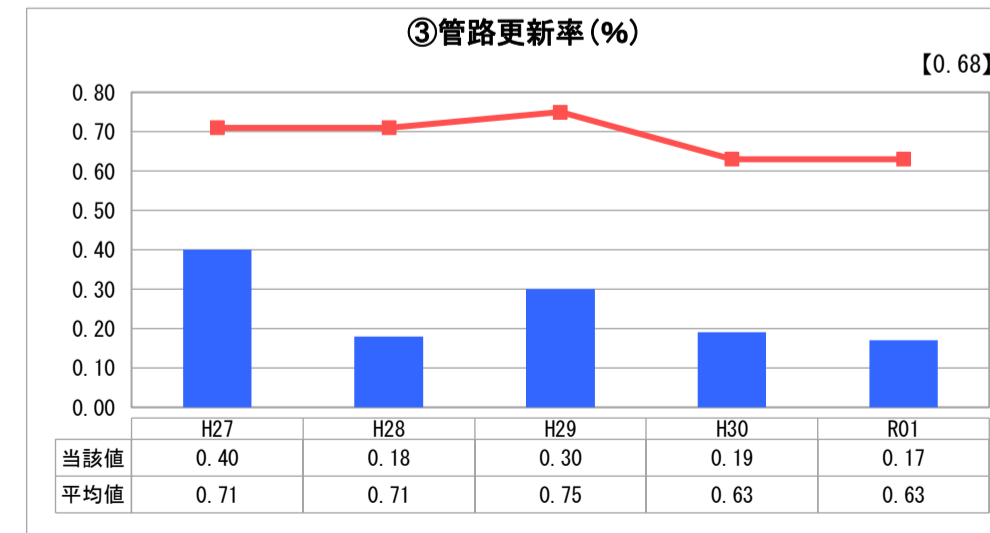
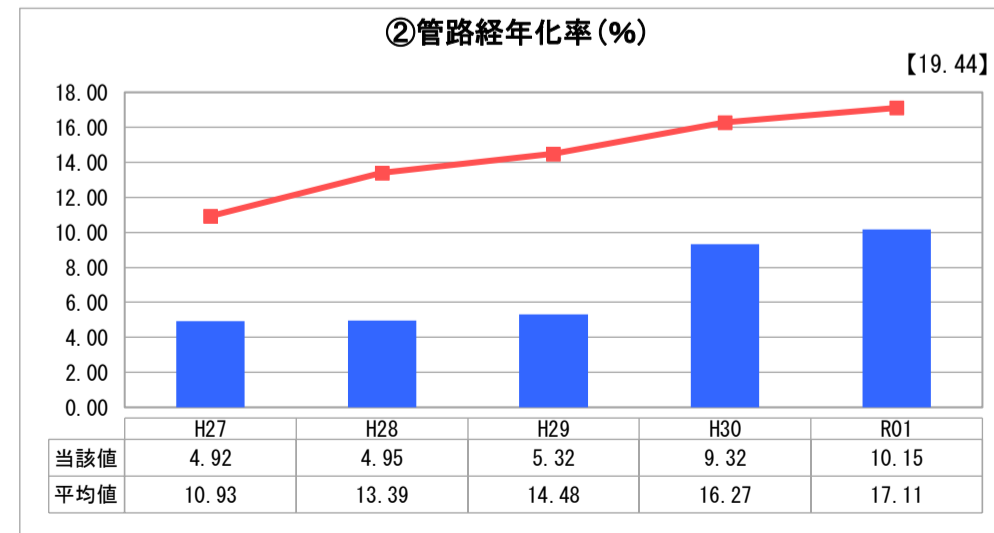
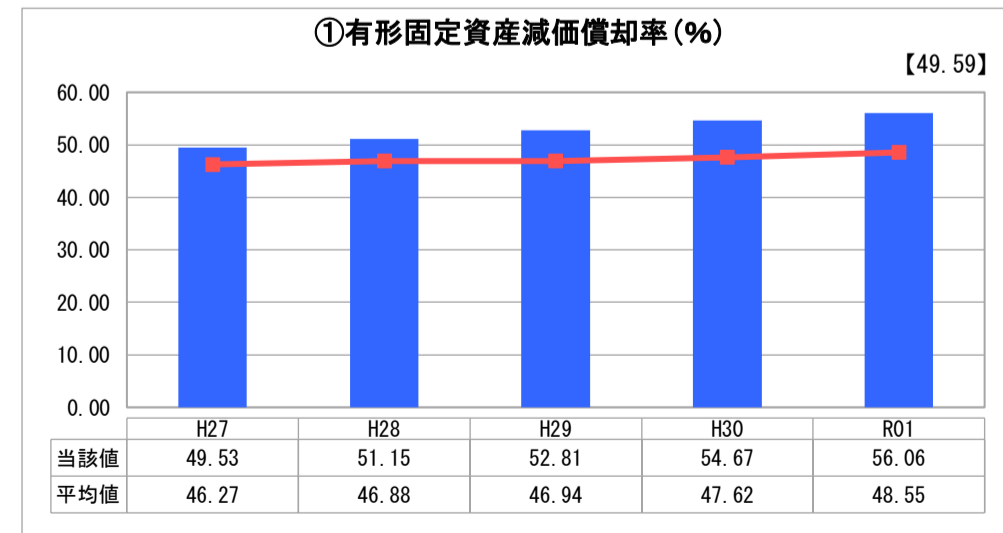
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、退職給付費及び固定資産除却費の増で、経常費用が増加し、給水収益の減及び新設工事等の分担金収入の減により、経常収益が減少したため、低下した。100%を超えており、経常利益が発生している状況である。
- ② 累積欠損金は、発生していない。
- ③ 流動比率は、100%を超えており、短期の債務に対する支払能力がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体の平均値と比較して低く、企業債残高が低く抑えられている状況である。
- ⑤ 料金回収率は、100%を超えている。
- ⑥ 給水原価は、有収水量の減、費用の増により、やや増加している。
- ⑦ 施設利用率は、年間総配水量が減少したため低下した。
- ⑧ 有収率は、有収水量、年間総配水量共に減少したが、有収水量に比べ配水量の減少が大きかったため、数値が上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較してやや高くなっているが、これは、施設整備を、高度経済成長期に行った結果、これらの施設の老朽化が進み、更新の必要があることを示している。
- ② 管路経年化率は、類似団体と比較して低いが、これは平成15年頃までに行われた下水道面整備事業に併せて管路の更新事業を実施したことにより、管路が新しいことを示している。
- ③ 管路更新率が低くなっているのは、平成15年頃までに行われた下水道面整備事業に併せて管路の更新事業を実施したことにより、近年の更新件数が減少しているためである。

2. 老朽化の状況



全体総括

当企業団の経営状況は、類似団体の平均値と比較して、やや良好な状況となっているが、経年施設の更新及び耐震化が課題となっている。
人口減少により給水収益が減少していく中で、安心で安全な水の安定供給を継続していくため、平成29年度に策定した経営戦略により、重要度と優先度を踏まえ、計画的に更新事業を実施し、健全経営に努める。